

日本デザイン学会秋季企画大会 東京造形大学 10月25日(土)

■テーマ

グローバル連携とデザイン教育

Global Relation and Design Education

■実施 日時 平成26(2014)年10月25日(土)

9:30から17:00(交流会17:15から18:45)

会場 東京造形大学(受付) 桑沢記念ホール 4D、4E

JR 横浜線・相原駅、(東口)

スクールバス(東口、東京造形大学スクールバス乗場)

<http://www.zokei.ac.jp>

車での来校はできません

大会参加費(当日受付)

- ・デザイン学会会員：1000円
- ・非会員：2000円
- ・学生会員：500円(学生証の提示をもって受付)
- ・学生非会員：500円(学生証の提示をもって受付)

交流会参加費(当日受付) 500円

大会委員長 有吉 徹 実行委員長 玉田俊郎

主催 日本デザイン学会 協力 東京造形大学

■主旨

今日、世界はグローバル化が急速に進み、さまざまな学問と研究分野で連携が進んでいます。その背景にはもはやその国、その地域だけではない解決できない問題が顕在化しグローバルな連携による研究と解決が求められているからです。一方、グローバル化が進展することによって、世界が均一化の方向に向かい固有の文化や価値観が損なわれるのではないかと懸念もあります。その国や地域の多様性を見出し尊重していくことも大きな課題となっています。このような観点からデザインの研究と教育のグローバル連携はこれまでになく重要となっています。それはデザインの持つ研究機能や教育の特質からグローバルな課題や多様性についてデザイン分野からの提案と貢献が有効と認識できるからです。本大会ではグローバル連携の可能性や展開を考察しデザイン教育の在り方やその方向性を見出す機会とします。

■大会プログラム

受付 09:00 桑沢記念ホール 4D、4E

大会 09:30-10:00 開会挨拶、学会賞授与など

10:00-11:00 基調講演：Ulrich Schendzielorz(シュビービッシュ・ゲミュント造形大学教授)
「グローバル連携とデザイン教育-Cumulusの活動と展開」

*Cumulus：国際的美術・デザイン・メディア大学連合

11:00-12:00 基調報告：益田文和(東京造形大学教授)

「DESISの活動と展開-ソーシャルデザイン+サステナブルデザイナー」

*DESIS(デスイズ)とは、デザインに関する教育プログラム、デザインラボ間のネットワーク。DESISはUNEP(国連環境計画)の支援を受けた活動。

昼食(弁当の用意はありません)[学食]

12:00-14:30 学生プロポジション展覧会(全国のデザイン学生作品)-ZOKEIギャラリー
ZOKEI教育展-社会への照準-東京造形大学美術館

14:50-16:50 パネルディスカッション

テーマ：グローバル連携とデザイン教育-その取組みと展開-

- ・Matthias Held(シュビービッシュ・ゲミュント造形大学)
- ・圓山憲子(武蔵野美術大学、国際センター長)
- ・樋口孝之(千葉大学)
- ・益田文和(東京造形大学)
- ・モデレータ 玉田俊郎(東京造形大学)

16:50-17:00 閉会挨拶

交流会 17:15-18:45 [CSプラザ]

■東京造形大学国際造形教育シンポジウム(日本デザイン学会協賛)12-201(大学院)
平成26(2014)年10月26日(日) 10:00から17:00(レセプション17:15から18:45)

■基調講演 テーマ：バウハウスの軌跡と日本における造形教育の発展 向井周太郎

■パネラー報告 テーマ：日本とドイツ、バウハウス造形教育の展開と成果、そして課題
司会者：林 道郎(上智大学教授) コメンテータ：向井周太郎(武蔵野美術大学名誉教授)
Matthias Held(シュビービッシュ・ゲミュント造形大学教授)
Lesley Millar(University for the Creative Arts,England 教授) 他